

一般就労移行者に向けた市町村の具体的な取組内容について

<豊橋市>

1. 就労系事業所が増加したことにより、障害者の就労支援を進めるための環境が整備され、就労訓練を利用する障害者が増え、その結果就職者の増加につながりました。

◆就労移行支援

平成21年4月1日 5事業所 ⇒ 平成24年4月1日 9事業所

(※新体系移行も含める)

◆就労継続支援B型

平成21年4月1日 4事業所 ⇒ 平成24年4月1日 17事業所

(※新体系移行も含める)

2. 平成22年7月に開所した豊橋市障害者就業促進・定着支援事業

(チャレンジドセンター)の事業展開により就職者数の増加につながりました。

【取り組み例】

◆チャレンジドバンク

障害者雇用を考えている企業が職場体験の場所をチャレンジドセンターへ登録し、障害者(在宅障害者、就労系事業所を利用している障害者)とのマッチングを図り就労支援を行う。

・チャレンジドバンク登録企業数 121社

製造業	42
サービス業	28
卸売・小売業	23
医療・福祉	13
飲食・宿泊業	4
運輸業	6
不動産業	2
学校・学習支援業	1
建設業	2
合計	121

3. 就労系事業所と相談支援事業所、その他関係機関との連携強化による就職者数の増加

◆自立支援協議会

・自立支援協議会にて地域の障害者雇用に係る様々な情報交換が行われ、障害者の就労支援体制が整備されました。

